

令和7年度 課の運営方針書

健康医療部 地域医療課

1 課の運営方針

【課の使命】

・住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるよう、地域医療体制の確保や救急医療体制の充実を図ります。

【課の目標】

- ① 電子カルテ、オンライン診療等の導入による医療のDX化の推進や、移動診療車を活用しての巡回診療の試行等により、北部地域や離島における持続可能な診療体制の構築を図ります。
- ② 休日夜間急病診療所や、休日歯科在宅当番医、熊毛地区休日在宅当番医による初期救急医療体制の維持と、輪番制病院への支援による二次救急医療体制の継続を図ります。
- ③ 持続可能な休日夜間等の診療体制の確保に向けて、近隣自治体と広域での診療体制についての協議を進めます。
- ④ 地域防災計画における医療救護活動について、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し、災害時の医療救護体制の検討・構築を図ります。
- ⑤ 大津島島民の救急搬送体制について、船舶保有事業者、遊漁船事業者等と搬送協力体制を構築し、夜間の救急搬送手段を確保します。

【行政経営への取組み】

・中山間地区及び離島の診療所への電子カルテ、オンライン診療等の導入により医療のDX化を推進し、診療情報の共有化と遠隔による診療を可能とすることで、医師、患者双方において、効率的で利便性の高い診療体制の構築を図ります。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(地域医療担当)

中山間地域や離島での公設診療所の運営等により、地域の医療を確保するとともに、休日夜間急病診療所の運営、病院群輪番制病院事業等による救急医療体制の充実に努めます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	8.8 人	うち	正職員	2.8 人	・	会計年度 任用職員	6 人	人件費	正職員	20,356 千円	会計年度 任用職員	5,215 千円
-----	-------	----	-----	-------	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	----------

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	68,488 千円	歳出予算額	248,566 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	5 事業
-------	-----------	-------	------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	4 保健・福祉 5 地域医療の充実 1 地域医療体制の充実	地域住民が健やかで快適に暮らすためには医療の充実が最も重要であることから、医師会、医療機関、大学等との連携を深めるとともに、オンライン診療等の医療のDX化を推進することで、日常的な医療サービスを受けることができる地域医療提供体制の充実を図ります。
2	4 保健・福祉 5 地域医療の充実 2 救急医療体制の充実	応急的な初期救急医療対策（一次救急医療）としての休日夜間急病診療所の運営、休日歯科在宅当番医の委託、産婦人科休日在宅当番医・熊毛地区休日在宅当番医の委託、重症患者を対象とした二次救急医療対策として病院群輪番制への支援等により、休日・夜間の診療提供体制を確保し、救急医療体制を維持していきます。